

別紙

ゾーニング支援ツール普及リーダー養成ワークショップ 開催要領

1 目的

ゾーニング支援ツール（通称：「もりぞん」）を活用したゾーニング手法を理解し、それらを林道の計画や管理に反映できる者を養成するため、ゾーニング支援ツールの使用方法等に関する現地研修会を開催します。

また、同研修会では、路線線形アプリ及び災害情報取得機器の使用法、取得した路線線形のゾーニングへの活用方法についても解説します。

2 主催者

一般社団法人 日本森林技術協会

3 推薦対象者

下記の（１）から（３）のいずれかに該当する方の参加を推奨します。

- （１） 林道計画の作成やゾーニングの実施を具体的に予定している市町村職員
- （２） 市町村・地域レベルのゾーニングを踏まえた林道の計画や管理を支援する都道府県職員等
- （３） 都道府県の森林 GIS 業務に関係するコンサルタント、測量、航測会社担当者等

なお、応募多数により定員を超過した場合は、同一のご所属先（都道府県の本庁、各出先機関、各市町村、各企業等）から多数お申し込みいただいている機関を中心に、参加人数の調整をお願いする場合がございます。あらかじめご了承ください。

【PCに関する要件】

原則、持込 PC（「外付け HDD の USB 接続」と「外付け HDD での作業」ができる PC）を用意できる方を対象とします。

ただし、持込 PC が用意できない場合は、主催者が用意する PC を使用することができます（各会場 10 台限り）。持込 PC の有無について、申込時に確認します。

なお、PC の基本操作ができる方であれば、GIS の操作が未経験でも問題ありません。

- ・「もりぞん」を用いたゾーニング図は、GIS の簡単な操作で作ることが可能です。
- ・実習中の GIS の操作について、スタッフがフォローします。

4 内容

今年度は、昨年度のカリキュラムに加え、林道関係の解説や実習を新たに追加して実施します（表内<新規>）。

区分	内容
「もりぞん」を用いたゾーニング	・もりぞんの概要・ゾーニングの基本的な考え方【事前学習動画】 ・林道計画におけるゾーニングの必要性<新規> ・ゾーニングに用いる各要素（収益性・災害リスク）の解説 ・林道から見る収益性と災害リスク<新規> ・〔実習〕 ツール操作・しきい値設定によるゾーニング図作成 ・今後の普及に関する意見交換

林道調査アプリ等の活用	・ゾーニングから考える林道管理<新規> ・災害対応を含めた林道管理のデジタル化について ・〔実習〕路網線形アプリの操作方法 ・データ活用に関する意見交換
-------------	---

※事前学習動画の詳細は『7 事前準備・当日の持ち物』をご確認ください。

5 日時・場所

日程	時間（予定）	開催地	会場
10月2日（金）	12:30～16:30	東京都	TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター 東京都新宿区市谷八幡町8番地
10月29日（木）	12:30～16:30	大阪府	トラストシティ カンファレンス・新大阪 大阪市淀川区宮原3丁目5-36
12月8日（火）	12:30～16:30	福岡県	リファレンス駅東ビル貸会議室 福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14

※各会場とも講習内容は同じです。

※定員は各回40名です。希望人数が定員を超過する場合、調整させていただく場合があります。

6 申し込みについて

日本森林技術協会のウェブサイト上に特設ページを開設して、参加者を募集します。

特設ページの開設及び募集開始は、8月24日（月）頃を予定しています。

特設ページへは、トップページの「お知らせ」からアクセスしてください。

【申し込みフォーム URL】 <https://forms.cloud.microsoft/r/TCfjWfqGaa>

【参考】日本森林技術協会のウェブサイト <https://www.jafta.or.jp/>

7 事前準備・当日の持ち物

当日の実習時間を十分に確保するため、事前の準備をお願いしております。

【当日の主な持ち物】

- ・持ち込み PC
- ・マウス（※QGISでの地図操作を実施するため、持参を推奨します）
- ・プリントアウトした各種資料（下記（2）参照）

（1）事前学習動画の視聴

本ワークショップでは、当日の実習時間を十分に確保するため、事前に学習用動画（約15分×2本）をご視聴いただいたうえでご参加いただきます。

・視聴方法：各会場の申込締切後、お申し込みいただいた方へ事務局よりメールにて視聴用 URL をご案内いたします。

・お願い：当日は動画の内容をご理解いただいている前提で解説および実習を進めますので、研修当日までに必ずご視聴の上ご参加ください。

(2) 当日資料の印刷（各自準備）

- ・各自 G 空間情報センターにアクセスして、「森林ゾーニングの手引き（R8.3 改訂版）」、「林道調査アプリの手引き（R8.3 改訂版）」をプリントアウトしてお持ちください。
- ・「森林ゾーニングの手引き（R8.3 改訂版）」は、白黒印刷ではなくカラー印刷を推奨します。

【関係データ入手先】

G 空間情報センター「森林ゾーニング支援ツール「もりぞん」」

<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/rinya-morizon-dateset>

G 空間情報センター「林道調査アプリ」

<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/rinya-rindoapp-dataset>

(3) PC を持ち込まれる方

- ・必要な PC のスペックと必要な QGIS のバージョンは、下記囲みの通りです。

PC のスペック：Windows11（10 も可） 64bit、十分空き容量のあるストレージ、4GB 以上のメモリ、USB タイプ A が使えるもの（タイプ A の外付け HDD を使用します）
QGIS のバージョン；QGIS3.16LTR（QGIS3.16.10）※必須

- ・G 空間情報センターから「森林ゾーニングの手引き（R8.3 改訂版）」を入手し、p.38～41 を参照して「もりぞん」をインストールしてください。
 - ・インストール後、G 空間情報センターからサンプルデータ「Zoningkit_SAMPLE.zip」を入手し、「手引き」p.45～49 のとおり操作し、「手引き」p.49 の図 3-19 と同様に要素計算がされることをご確認ください（動作確認）。
 - ・動作に不具合がある場合は、G 空間情報センターの「よくあるご質問（R7.3 更新版）」をご参照の上、必要に応じてメールでお問い合わせください。
 - ・PC を持ち込まれる方は、主催者が用意する外付け HDD に接続して操作します。このデータは持ち込まれた PC にはコピーできません。
- ※外付け HDD にアクセスができない場合は、主催者が用意する PC を使用していただくことになりますので、ご注意ください。
- ・マウスのご持参を推奨します。

(4) 主催者が準備する PC を使用する方

- ・PC を用意できない場合は、主催者が用意する PC を使用することができます。【10 台限り】（ご希望の方は、申し込みフォームより申し込み可能です。）

以上